



古代ロマンを感じながら快走

4月1日、第28回行田市鉄剣マラソン大会が開催されました。東日本大震災の影響を受け、2年ぶりに開催されたこの大会に、総勢3,518人の方が参加。また、ゲストランナーには、アテネオリンピックなど数々の世界大会で日本代表として活躍した大島めぐみさんを迎え、大会を盛り上げました。澄み切った青空の下、古代蓮の里からさきたま古墳公園を含む周回コースに挑んだ選手たちは、肌で古代ロマンを感じながら、さわやかな汗を流していました。

「ぶらっと♪ぎょうだ」がついにオープン

4月2日、商工センター1階に観光情報館「ぶらっと♪ぎょうだ」がオープンしました。工藤市長らによるテープカットなど、華々しく行われた記念式典の後、参加者は館内を見学。漬物やせんべいなどの名産品が数多く並び、休憩スペースや赤ちゃんの駅も完備された同館が、観光情報の発信地として大きな役割を果たすことでしょう。



桜の下で春を満喫

4月7日、水城公園桜ボンボリまつりが市民広場で開催されました。見ごろを迎えた桜の下には、フリーマーケットや食品販売など多種多様な出店が並び、買い物を楽しむ人、シートを広げてお弁当を食べる人など、誰もが思い思いの時間を過ごしていました。行田大茶会も行われ、参加者は目の前でたてられたお茶と、桜やチョウをかたどった和菓子を味わい、春を満喫していました。

球春到来

3月25日、総合公園野球場で女子大学野球第1回尚平対抗戦が行われました。女子野球トップチームの尚美学園大学女子硬式野球部と平成国際大学女子硬式野球部の対戦を一目見ようと、同球場には多くの観客が詰め掛けました。今年開催される世界選手権の日本代表に両チーム合わせて6人の選手が選ばれているチームとあって、選手たちは、男子顔負けのハイレベルなプレーを披露。白熱した試合を繰り広げた両チームに大きな拍手が送られていました。





行田の農産物が給食に使われているよ

3月19日、「学校給食交流会」が桜ヶ丘小学校で行われました。この交流会は、行田市地産地消推進協議会が「地産地消」の推進を目的に、生産者、消費者である児童、関係者らが、学校で一緒に給食を食べて、給食に使用されている地元の農産物に対して理解を深めるため開催したものです。児童たちは、おいしそうに給食を食べながら、参加者と交流を図っていました。

大地の恵みを堪能

3月25日、JAほくさい行田中央支店で第33回行田市農業祭が行われました。

新鮮でおいしい農産物が手に入るとあって、会場は朝早くから多くの人でにぎわいました。途中行われたもちつき大会では、つくたてのもちが来場者に振る舞われ、青大豆から作ったずんだあんをまぶしたもちが大人気。「甘くてコクがある」と好評を得ていました。訪れた人は、地元の大地の恵みを存分に堪能することができたことでしょう。



目指せ！交通事故ゼロ！

4月6日、産業文化会館駐車場で春の全国交通安全運動出発式が行われました。

「高齢者による交通事故をゼロにすること」を重点目標に掲げた出発式。県立進修館高等学校空手道部の演武や、吹奏楽部の演奏も行われ、式を盛り上げました。その後行われた交通安全パレードでは、横断幕やのぼりを持った参加者が忍城址まで行進し、交通事故抑止の意識向上を呼び掛けていました。

自衛隊の災害活動を紹介

3月24日、「みらい」文化ホールで、陸上自衛隊朝霞駐屯地司令陸将補の山下裕貴さんを講師に迎え、行田市自衛隊協会主催の講演会が行われました。

この講演会では、東日本大震災における自衛隊の救助活動の様子や福島第一原発事故への対応、さらには、災害が発生したときに取るべき行動などを紹介。参加者は、自衛隊の活動状況に熱心に聞き入り、「もしものとき」に備えて行動できるよう、防災意識を高めていました。

